

参議院選挙・兵庫選挙区で野党議席の奪還を呼びかける声明

参院選の公示を前に 連帯兵庫みなせん

年金不安、財政破綻、不都合な真実は隠ぺいする。予算委員会も開かず国会のルールを数の頼りに無視続ける。そのうえで解散権をもてあそび、スキを見て憲法9条の改悪をもくろむ。そんな安倍政権の暴走にストップをかける参議院選挙が目前に迫りました。

私たちは安倍政権の“やりたい放題”を止めるには、先ずは衆参両院での「与党3分の2議席」を割らせるために、野党が一致して協力し、市民と野党の共闘で統一候補を国会に送り込むことが何よりも先決だと4年間活動してきました。

兵庫県の選挙区では、3年前の参院選で定数が3に増えたにもかかわらず、2名の野党候補が競合して“共倒れ”になり野党議席がなくなりました。2年前の衆院選でも野党同士の候補者調整が進まないまま、12の小選挙区で野党議員がゼロになりました。4月の統一自治体選挙でも自民党は安定した強さを発揮し、大阪の維新旋風が兵庫にもろに波及するなど、与野党の力関係は厳しい状態が続いています。

野党候補の一本化調整を断念、“共倒れ”回避を優先し安田真理氏を支援

今回の参院選兵庫選挙区では、安定した強さを持つ自民に加えて公明と維新の力が強く、野党は共産党と立憲民主党がそれぞれ候補を立てて競い合うことで、前回のように共倒れの悪夢が再現される懸念が高まっています。このため、連帯兵庫みなせんは昨年来、兵庫選挙区の情勢を考えれば確実に野党議席を奪還することを何よりも優先させることを「市民と野党の協議」の場で訴え、野党候補の一本化を求めて野党6党との協議を重ねてきました。

しかし「複数区では候補者調整はせず、切磋琢磨して、あくまでも2議席確保をめざすべきだ」という一部政党の、政党組織の立場を優先する議論との調整が不調に終わり、選挙を目前に控えこれ以上の一本化調整は断念せざるを得なくなりました。

しかし、連帯兵庫みなせんは兵庫県における「市民と野党の共闘」を推進する要として、兵庫選挙区における「野党議席を確実に確保する」という市民の願いに応える社会的責任を果たさねばならないことを重視します。そのためには、前回参院選のように野党候補2名を支援して“共倒れ”を招く事態を避けねばならず、次善の策として当選可能性がより高い安田真理氏（立憲民主党公認）を全力挙げて支援するよう、「安倍政治の暴走にストップ」をかけたいと願うすべての市民と市民団体、政党に呼びかけることにしました。

野党5党と足並みそろえ、兵庫の野党議席を確保 6党共闘は選挙後に再開へ

この決定は今回の参院選兵庫選挙区への対応に限ったもので、苦渋の選択でもあります。したがって、兵庫県における立憲野党6党による「市民と野党の共闘」の枠組みは、今後の衆院選や国政選挙でも維持発展させるという姿勢を明確にし、選挙後にあらためて6党による協議を再開します。

独自候補を擁立している共産党を除く野党5党と連帯兵庫みなせんの方針は基本的に一致しています。すでに国民民主党、緑の党、社民党は安田真理氏を推薦または支持することを決定しており、新社会党も間もなく同様の態度を正式決定する予定です。

私たちは、今回の参院選が傍若無人な安倍政権の暴走を正すため、さらには時代錯誤の自民党憲法改正案を発議させることを止めるためにも、極めて重要な選挙だと認識します。

同じ思いを持つ全ての市民と市民団体、政党が、確実に野党議席を確保するために、上記の候補を支援することを呼びかけます。

2019年6月26日

連帯兵庫みなせん

(平和と立憲主義、いのちと暮らしを守る市民選挙・連帯兵庫)